



# いいおっ子

旭市立飯岡小学校  
学校だより No.5  
H30.6.11

## ◆◆◆運動会◆◆◆

### スローガン

「最後まで走り抜け！全力の運動会！！」



6月2日（土）爽やかな風、抜けるような青空のもと、平成30年度運動会が行われました。

まずは、プログラムNo.1、以前は千葉県民体操「なのはな体操」を行っていましたが、2年前から「ラジオ体操」を行っています。1年生は、ほとんど初めての経験でしたが、短期間にしっかりと覚えることができました。

係児童の活躍もあり、各学年の種目が滞りなく進んでいきました。

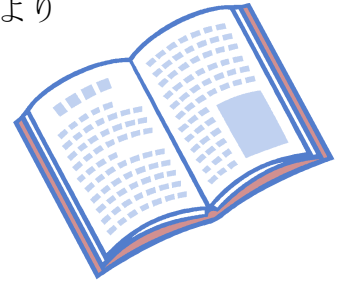
今年度の運動会で特に素晴らしかったのは、低・中・高学年の団体種目でした。

『ダンシング 旭音頭』（1・2年生）、『よっちょれ』（3・4年生）、『心を一つに』（5・6年生）、短い練習期間にもかかわらず、どれもその学年らしさが十分に表現され、大人も子どもも、全観衆を魅了しました。『心を一つに』での、5・6年生による集団行動の見事な動き、その美しさに会場全体から感嘆の声が湧きあがりました。

来年度は、どんな姿を見せてくれるのか、今から楽しみです。

雨の日が多くなる梅雨の時季、外で遊べない日は何をして過ごしたらよいでしょう？  
校長からのお勧めは、読書です。なぜならば、本を読むことにより

- 1 頭がよくなります
- 2 集中力が鍛えられます



そして、以下のような内容を話しました。

なぜ、頭がよくなるのかというと、

ちょっと難しい話ですが、脳科学者の茂木健一郎先生によれば、何かをしていてうれしいことがあると、脳の中にドーパミンという物質が出て、そのときに活動していた神経細胞のつながりが強化されます。そして、その回路は使えば使うほど強化されます。

では、どういうときにドーパミンが出るか。それは、ワクワク・ドキドキしたり、感動したりしたときです。

本を読んで何かに感動したり、興味を持ったりして、その後、読書体験を重ねてその感動や興味がさらに深まることを繰り返すと、読書に関する回路が強化されます。その結果、論理的思考力やコミュニケーション能力が高まります。

読書に集中していると、脳にある集中力を発揮するときの回路、これは脳の指令塔でもあるのですが、これが鍛えられるそうです。なので、少し難しい本をがまんして集中して読めるようになると、この脳の回路が鍛えられ、他のことにも応用できるようになり、ぐんぐん頭がよくなるそうです。

「伝記」って分かりますか？

世の中に役立つ仕事や素晴らしい考え方、作品などを残した人の行動や一生が書いてある本です。校長先生は、小学生の時に、図書室にある伝記を全部読もうと思い、一年くらいかけて読んだ記憶があります。

今月の28日（木）から3日間、沖縄交流事業で5年生の6名が、沖縄県中城村に行きます。そのきっかけとなった方が、沖縄県の上原清善さんです。『上原清善物語』という本が図書室にありますので、読んでみてください。

本の読み方として、手当たり次第にいろんな本を読んでみるのもいいですし、担任の先生や司書の阿部先生に、どんな本がおもしろいか聞いてみるのもいいです。

ワクワク・ドキドキ、感動が待っていますよ。